



## かわしんの環境関連商品

### カーライフプラン・エコ

お取扱期間:平成28年10月3日(月)~平成28年12月30日(金)

かわしんは環境保護を応援します

**本金利プラン基準金利 年2.48%**  
(変動金利) 保証料込み

**年1.9%**  
(変動金利) 保証料込み

※電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、低燃費かつ低排出ガス認定自動車等、自動車重量税、自動車取得税が減免される新車購入が対象となります。

#### カーライフプラン・エコの対象となる方

- ご利用いただける方
  - 当金庫のカードローンをご契約中の方(同時申込可)
  - 当金庫の住宅ローンをご利用の方
  - しんきんカード(VISA・JCB)決済口座をご契約中の方(同時申込可)
  - 5大公共料金(2種類以上)引落し契約のある方(同時申込可)
  - 当金庫で給与振込・年金受取のいずれかご利用中の方(同時申込可)
  - 「パパ・ママ優待カード」所持者
  - 「多子世帯応援ショップ」対象者の方
  - ※いずれか一つでも該当する方
- ご融資金額 1000万円以内(1万円単位)
- ご融資期間 3ヶ月以上10年以内
- お使いみち
  - 自動車購入・二輪車購入(ただし、営業用車を除く)
  - 車検、修理、運転免許取得資金等、および同資金用途の旧債返済資金で当金庫より支払先への振込ができるもの
- ご返済方法 毎月元金または元利均等返済、ボーナス併用返済もできます。ただし、ボーナス返済部分の元金は、ご融資金額の50%までとします
- 保証人・担保 一般社団法人しんきん保証基金が保証しますので必要ありません
- その他
  - 年2回、当金庫所定基準金利を基に金利見直しを行います
  - お申し込みの際には、事前の審査をさせていただきます。結果においては、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください

### かわしんISO関連特別融資

- ご利用いただける方…当金庫と継続して6ヶ月以上与信取引がある方
- ご融資金額…1,000万円以内
- ご融資期間…運転資金5年以内(据置6ヶ月以内)  
設備資金7年以内(据置12ヶ月以内)
- お使いみち…ISO9001及び14001に係わる運転及び設備資金
- ご返済方法…元金均等分割返済 利息先取
- 保証人…代表者は連帯保証人
- 担保…原則不要であるが、一部協議により必要となる場合があります
- 金利…当金庫所定利率、変動金利

### その他の環境関連融資

- 環境みらい資金(県制度資金)…公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等
- 安心リフォームプラン「一家団欒(だんらん)」

ローンの詳しい内容、または現在のご融資利率やご返済の試算については当金庫の本支店、またはローンセンターにお問い合わせください。

**川口信用金庫**  
<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号  
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665



本部及び本店営業部



この冊子は環境にやさしいベジタブルインクを使用しています。



# かわしんの環境活動報告書

## 第10号

平成28年11月発行



鋳物師親子が命を懸けた聖火台。もう一つの物語が青木町公園に保存されています。

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、環境保全活動を実践しています。

**川口信用金庫**



本部及び本店営業部





みなさんこんにちは

日頃より川口信用金庫をご利用ご愛顧いただき誠にありがとうございます。

当金庫は新店が平成28年12月にグランドオープンいたしますが、これも偏に皆様方の温かいご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、建替え中は何かと大変ご不便、ご迷惑をおかけいたしました。

これからも職員一丸となって100周年に向かって邁進していく所存でありますので、よろしく願いいたします。

さて、今年の夏は水不足のうえ、猛暑日が続き、また九州を中心に大きな地震、東北・北海道では台風による集中豪雨と広い地域で大災害に見舞われました。

被害に遭われた皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

環境についての問題は自然災害や温暖化のみに止まらずオゾン層破壊・森林破壊・砂漠化・産業廃棄物の大量発生等様々な形で現れています。

この様な状況下において、当金庫では平成16年にISO14001を取得してから毎年、「地球温暖化問題」という困難な課題を解決するために、電力使用量削減を中心に廃棄物・紙の使用削減など二酸化炭素の発生量を減少させる「環境負荷低減活動」に重点を置き活動して参りました。

地球温暖化防止活動として埼玉県や川口市が推進している「エコライフDAY」や「みどりと川の再生」を応援する植樹への参加、また「環境クリーン定期預金」による埼玉県環境関連基金への寄付等、職員全員が積極的に環境と地域経済の健全な発展に取り組んできました。

今後も地域金融機関として地域社会に対する社会的責任を果たし、地域経済の健全な発展と地域環境の保全に貢献して参ります。

平成28年11月  
会長 山口泰男  
理事長 日下義章

## 環境方針

### I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

### II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・環境目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 前記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、及び福祉・環境を大切にす地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

## 平成28年度環境目標

### I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1. 電力の使用量  
電力使用量を3.50%削減する(21年度比)
2. 廃棄物の分別と排出  
廃棄物の分別を推進するとともに、物件費を3.50%削減し、排出量の削減を図る(21年度比)
3. 紙の使用・廃棄  
紙費用を3.50%削減する(21年度比)

### II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1. 既存の環境関連金融商品の拡販
2. 新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3. OA機器の効率的活用
4. コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5. 顧客へのISO普及・支援
6. 各種地域貢献活動の立案及び実行
7. 環境関連のその他サービスの提供



もう一つの聖火台  
青木町公園に

今年の夏はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの熱戦に眠れぬ夜を過ごした方も少なくないのでは。4年後はいよいよ東京大会です。メインスタジアムとなる新国立競技場の聖火台を、ぜひ川口鑄物で。私たちの夢ですね。

旧国立競技場の聖火台が川口鑄物であることはよく知られています。鑄物師・鈴木萬之助・文吾さん親子の手によるものです。実は、父・萬之助さんが最初に手がけた聖火台は湯入れ作業の事故で失敗。萬之助さんは失意のうちに亡くなり、聖火台は文吾さんへ引き継がれました。

命を懸けた聖火台。その初代が青木町公園に保存されています。文吾さんが損傷した部分を修復し、寄贈したものです。

H15.9.1	「環境管理室」設置	H21.5.19	(財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付	H23.1.23	川口市エコライフデー参加	H24.9.15・16	川口エコチャレンジプロジェクト省力・省エネ 運搬器具製作協賛	H26.5.30	彩の国みどりの基金へ寄付
H15.9.12	第1回コンサルティング開発	H21.5.19	彩の国みどりの基金へ寄付	H23.2.27	埼玉県みどり再生課主催記念植樹参加 (県立狭山自然公園)	H24.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第13次募集)	H26.6.8	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加
H15.12.3	かわしんISO関連特別融資の発売開始	H21.7.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第5次募集)	H23.5.18	彩の国みどりの基金へ寄付	H24.10.16	かわしん環境活動報告書Vol.6発行	H26.7.24	彩の国みどりの基金植樹寄付(吉見町・衛生研究所)
H16.5.28	ISO認証取得(H16.5.28~H19.5.27)	H21.11.10	かわしん環境クリーン定期預金発売(第6次募集)	H23.6.12	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加	H25.1.20	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加	H26.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第17次募集)
H17.6.21	クールビズ開始(以降毎年6月~9月実施)	H21.11.30	かわしん環境活動報告書Vol.3発行	H23.8.5	鳩ヶ谷市里小学校校庭にて緑化推進事業として植樹	H25.2.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第14次募集)	H26.11.19	かわしん環境活動報告書Vol.8発行
H17.11.1	ウォームビズ開始(以降毎年11月~3月実施)	H22.2.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第7次募集)	H23.10.11	かわしん環境活動報告書Vol.5発行	H25.2.9	さいたま緑のトラスト保全第5号地への 保全作業参加(宮代町)	H26.12.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第18次募集)
H19.2.13	ISO更新審査(H19.5.28~H22.5.27)	H22.3.10	ISO更新審査(H22.5.28~H25.5.27)	H23.11.18	かわしん環境活動報告書Vol.6発行	H25.5.13	彩の国みどりの基金へ寄付	H27.1.18	川口市エコライフデー2014(冬)及び チャレンジエコライフ参加
H19.7.2	かわしん環境クリーン定期預金発売(第1次募集)	H22.5.19	彩の国みどりの基金へ寄付	H23.12.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第12次募集)	H25.5.18	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加	H27.5.18	彩の国みどりの基金へ寄付
H19.10.1	かわしん環境活動報告書Vol.1発行	H22.6.13	川口市エコライフデー参加	H24.2.29	エコ通動優良事業所として認証登録	H25.6.9	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加	H27.6.14	川口市エコライフデー2015参加
H19.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第2次募集)	H22.6.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第8次募集)	H24.4.2	「環境管理室」から「社会貢献課」へ組織変更	H25.7.19	かわしん環境クリーン定期預金発売(第15次募集)	H27.6.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第19次募集)
H20.6.9	「チーム・マイナス6%」運動への参加	H22.11.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第9次募集)	H24.5.14	彩の国みどりの基金へ寄付	H25.10.30	国土交通省から「都市緑化功労者表彰」受賞	H27.12.9	かわしん環境活動報告書Vol.9発行
H20.6.24	(財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付	H22.11.30	かわしん環境活動報告書Vol.4発行	H24.5.20	埼玉県緑化推進委員会主催植樹祭参加 (春日部市)	H25.11.26	かわしん環境活動報告書Vol.7発行	H28.1.17	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加
H20.7.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第3次募集)	H22.12.16	彩の国みどりのサポーターズクラブ入会	H24.7.20	埼玉県エコライフデー(夏のキャンペーン)への参加	H26.1.19	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加	H28.6.12	川口市エコライフデー2016(夏)参加)
H20.11.11	かわしん環境活動報告書Vol.2発行	H22.12.20	埼玉県植樹エントリー制度(一人1本植樹運動)へ参加			H26.2.3	かわしん環境クリーン定期預金発売(第16次募集)	H28.7.20	彩の国みどりの基金へ寄付
H21.2.16	かわしん環境クリーン定期預金発売(第4次募集)	H23.1.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第10次募集)						



# 完成した新本店の「環境配慮」 工事から建物の概要まで紹介します



敷地内には緑地を設け、潤いのある都市空間を創出しています

### 旧本店の解体工事。 注目は徹底した分別と、 周辺環境への配慮でした

本店は川口駅前、そごう川口店の裏手にあります。大きな建物が隣接する市街地で、特に「かわしん通り」は車や自転車、歩行者が頻繁に行き交うため大型クレーンを現場に入れることができません。そこで、解体工事に採用されたのが「階上解体」。これは、まず破碎重機を屋上まで揚げて、最上階から順々に解体する工法です。

低騒音、超低騒音型の重機を使い地域の環境に十分配慮したほか、煙突の解体などに使う特別な工法を採用して安全に努めました。

では、解体工事によって排出された廃棄物はどうなったのでしょうか。

2002(平成14)年に全面施行された「建設リサイクル法」は、建設会社などにコンクリートやアスファルト、木材などの特定資材を用いた建築物について、解体工事に伴う廃棄物を現場で分別し、資材ごとに再利用することを義務付けています。廃棄物を再生可能な資源と捉えて、有効な利用を確保し廃棄物の減量を進めるのが狙いです。

新築・増築などが対象で、一般住宅の解体や新築・増築工事も含まれますから、みなさんにとっても深いかわり

本店の建て替え工事は、第1期工事にあたる新本店建物が完成して、現在は旧「新館」建物の取り壊しと駐車場などの外構整備が進んでいます。グランドオープンは今もなく、本店営業部が営業を開始する12月の予定です。

旧本店建物ができたのは、およそ半世紀前の1967(昭和42)年です。長年親しまれてきた建物ですが、経年劣化による老朽化が進んでいたことに加えて、これまでに改正を重ねた建築基準法が求める十分な耐震性を備えていませんでした。また、5年前の東日本大震災によって、さらなる耐震性の向上が求められていました。

こうしたことから、創立90周年を迎えた2014(平成26)年、本店の建て替え工事が始まりました。6月、旧本店の屋上にあった赤い地に白文字の「かわしん」の看板が取り外され、本格的な工事が始まりました。

それでは「環境への配慮」という視点で、完成した新本店の建物や、建て替え工事を紹介します。

があります。

旧本館の床面積は約3800平方メートル、車庫・書庫棟が約450平方メートルです。ここから排出された廃棄物はコンクリートがら、木くず、廃プラスチック、廃石膏ボード、紙くず、廃蛍光灯、廃石綿などで、種類ごとに量を把握、管理されました。主な廃棄物の量は、コンクリートがらが約4000トン、金属類が約350トン、その他が約100トンでした。

注目すべきは、これらの廃棄物が徹底して分別されていたことです。例えば、内装は手作業で取り壊し、石膏ボードや木くず、廃プラスチックなどに細かく選別。種類ごとに中間処理施設に運ばれ、多くがリサイクルされました。

廃棄物の中には、蛍光灯やフロンガスなどのように特別な処理が必要なものも少なくありません。これらは適切な処理施設へ運ばれ、例えばフロンガスは破壊処理され、廃蛍光灯からはガスが回収されました。

建設廃棄物の分別や処理には大変な手間やコストがかかりますが、再資源化やリサイクルの重要な要です。

### 変わる建設現場。 エコ通勤の取り組みに、 驚きました。

2014(平成26)年11月、安全を祈願す

る地鎮祭が行われました。建設工事が本格化すると、大勢の作業員のみなさんが現場にやって来るようになりました。聞けば、工事期間中の作業員数は延べ2~3万人にもなります。

気になったのは、朝の風景です。作業員のみなさんの多くが、駅から徒歩で通勤しています。

作業で服が汚れてもそのまま帰れるように、また荷物を持つ負担を軽減するために、車で通勤しているとはばかり思っていました。尋ねてみると、こんな答えが返ってきました。

「この現場は駅から近いので、エコ通勤の取り組みを進めています。電車やバスを利用している者も多く、車を利用する場合は相乗りです」

エコ通勤は、通勤手段をマイカーから自転車や徒歩、電車やバスなどの公共交通機関へ切り替えることです。

国土交通省の調査によれば、エコ通勤の実践によって、温室効果ガスの二酸化炭素(CO2)を約1割削減する効果が期待できるとのことで、全国で本格的な普及が始まっています。

本店建て替え工事は、みなさんから見えないところでもしっかりと環境へ配慮されていたわけです。

実は、かわしんもエコ通勤に取り組んでいて、その実践率はほぼ100%で

す。取り組みの歴史は古く、スタートしたのは1979(昭和54)年でした。第2次オイルショックの年で、当初は石油消費節減と通勤時の交通事故防止を目的にマイカー通勤を原則禁止しましたが、今では環境負荷の低減に貢献しています。

思えば、エコ通勤はみなさんにもできる有効な温暖化防止対策です。ぜひ実践してください。

建設工事に伴って排出される廃棄物についても紹介しましょう。

現場から排出されるのはコンクリートがらやアスファルトがら、木くず、プラスチック、石膏ボード、紙くずなどで、その量は全体で約130トン(見込み)です。驚いたのは、紙くずが全体のおよそ1割を占めていること。その多くが外装材や内装材、設備機器などの梱包材とのことです。

ここにも発生する廃棄物への取り組みがありました。現場では廃棄物の発生を可能な限り抑制し、さらに再利用にも努めています。例えば、コンクリートがらは細かく破碎して再生砕石になり、別の現場で再利用されます。

みなさんの家庭も同じです。混合したまま廃棄すればごみですが、分別すれば再生や再資源化できるものも少なくありません。しっかりと分別のルールを守りましょう。





屋上に設置されている太陽光発電パネル。非常用電源としても活用します



外光を採り入れる広い窓がある執務室。全館にLED照明が採用されています



車いす用トイレ。トイレや洗面所には節水型、自動水栓の設備を多く採用しました



最上階にあるスカイホール「絆」。大規模災害時には帰宅困難者などを収容します



7階にある防災備蓄倉庫。毛布や敷きマット、食料、簡易トイレなどを備蓄します



免震装置。国が定める「極めてまれに発生する地震動」を想定して設計されています

### 生まれ変わった新本店。「環境配慮」の視点から建物の性能をみると…

新本店は鉄骨造の10階建てで、およそ45メートルの高さがあります。「かわしん通り」から見上げると、全面ガラス張りの壁面には空と雲、まちの風景が映り込みとても印象的です。特殊なガラスは意匠の美しさだけでなく、日射エネルギーを反射したり、吸収したりすることで高い省エネ効果を発揮するといえます。

今、こうした環境配慮型の建物へ関心が高まっています。そのきっかけになったのは、2009(平成21)年に施行された「改正省エネ法(エネルギー使用の合理化に関する法律の一部を改正した法律)」です。CO2排出量が増えていた業務・家庭部門における住宅や建築物について、省エネ対策の強化が盛り込まれました。

これを受けて、埼玉県は「県建築物環境配慮制度」をスタートしました。延床面積2千平方メートル以上の大規模な建築物の新築、増改築について「特定建築物環境配慮計画」の提出を義務付け、建築物総合環境性能評価システム「CASBEE埼玉県」による格付けや、環境配慮の取り組みを公表しています。

この評価システムは、特に太陽光などの自然エネルギーの利用や省エネ設備の導入などによって、建設から解体までのライフサイクルを通して発生するCO2排出量を削減する取り組みと、敷地内の緑化などによって潤いある都市空間を創出する取り組みを重点項目としています。

生まれ変わった本店の屋上には太陽光発電パネルが設置されています。発電能力は毎時10キロワットで、非常用電源としても利用されます。

また、照明器具にはLED照明を全面

採用しました。LED照明は従来の蛍光灯などと比較して、消費電力は半分以下といわれます。電気料金を削減するだけでなく、間接的に発電によるCO2排出量を削減します。

新本店の敷地は約2468平方メートルあり、その14%以上に当たる354平方メートルを緑化します。確保した緑地は154平方メートル。樹高4~10メートルの樹木を植栽して、緑化に配慮しています。加えて、駐車場の緑化面積は200平方メートルあり、現在進行している2期工事が完成すると潤いのある都市空間が創出されます。

このほか、トイレや洗面所に採用した衛生器具の多くは節水型や自動水栓で、水資源保護に努めているほか、温室効果ガスの吸収源でもある水源林の保護・保全にも配慮しました。

室内環境では、大きな窓を確保した高い景観性と快適性に加え、シックハウス症候群の原因となる化学物質ホル

ムアルデヒドの発散量が最も少ない最上ランクの内装材を採用しました。

「CASBEE埼玉県」などの建物の環境性能評価は、実はみなさんの生活にも深いかかわりがあります。かわしんは県と協力して、自然エネルギーの利用や省エネ対策を進めた住宅取得を応援しています。県が定めた基準を満たした場合には、住宅ローンの金利を引き下げる優遇制度がありますので、ぜひご利用ください。

### 高い信頼性と耐用性。防災機能を備えたもう一つの役割

建物の環境性能を評価するとき、ライフサイクルは重要な視点です。建物の長寿命化にかかわる耐用性や信頼性についてはどうでしょう。

新本店の外壁には重厚感のある御影石が採用されています。御影石は腐

食や風化に強く、補修などメンテナンスが必要になる間隔にゆとりが生まれ耐用性に優れています。

そして注目すべきは、新本店は免震装置を導入していることで、「CASBEE埼玉県」で最高評価点を獲得しています。また、非常用発電設備も備え、主要な設備機器は地下空間への設置を避けて屋上に配置されています。

こうした環境性能からみた高い信頼性は、新本店が備える防災機能にもつながるものです。

かわしんを含む県内の6金融機関は県と「防災協力に関する包括協定」を結んでいます。また、今年2月に6金融機関で「大規模災害時の相互支援に関する協定書」を締結。9月には、大規模災害に備えた危機対応の模擬訓練を共同で実施しました。

新本店は大規模災害時、高い防災機能を発揮します。最上階のスカイホール「絆」に収容可能な人数は200人

で、駅前などの帰宅困難者を積極的に支援します。そのために必要な毛布や敷きマット、食料や飲料水、簡易トイレなどを備蓄します。

また、非常用の自家発電装置は毎時400キロワットの発電能力があり、3日間稼働できます。また、受水槽には12トンの飲料水を確保しています。これは1人1日3リットル換算で、約千人を4日間支える量です。

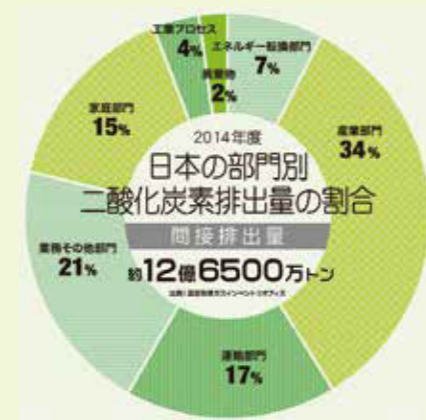
生まれ変わった本店によって、かわしんはこれまで以上に安心して安全なサービスを地域のみなさんへ提供するとともに、地元産業や地域経済の発展に全力を尽くします。



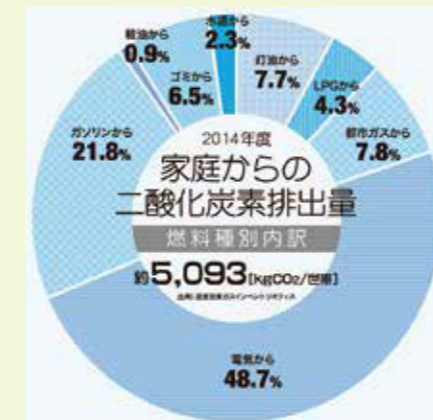
間もなくグランドオープンする新本店の完成予想図です

### ECO DATA 2016

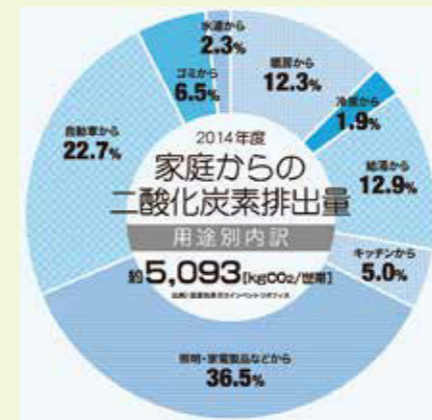
### 環境に優しい暮らししていますか？ 家庭のCO2排出量



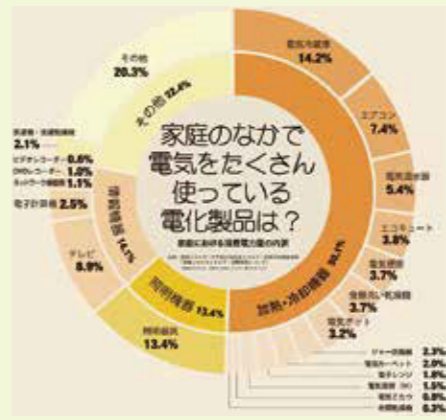
CO2の36%は家庭や事務所から  
2014年度の国内の二酸化炭素排出量は約12億6500万トンです。そのうちの36%を、みなさんの家庭(15%)と事務所などの民生部門(21%)が占めています。



家庭のCO2排出量。電気が半分  
2014年度の家庭から排出される二酸化炭素量は1世帯当たり約5093キロです。そのうちの約半分、48.7%を電気が排出しています。節電が大切なことがわかります。



4割近くを家電製品や照明から  
家庭から排出される二酸化炭素量の36.5%を照明や家電製品などが占めています。照明をLEDに交換したり、待機電力に気を使ったりすることが大切です。



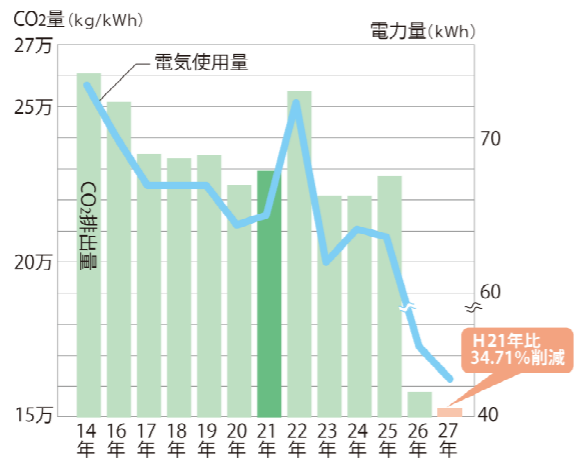
消費電力。冷蔵庫やエアコン2割  
家庭の消費電力量をみると半分を「加熱・冷却機器」で使っています。全体をみると冷蔵庫(14.2%)とエアコン(7.4%)が2割以上を占めていることがわかります。

※全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より



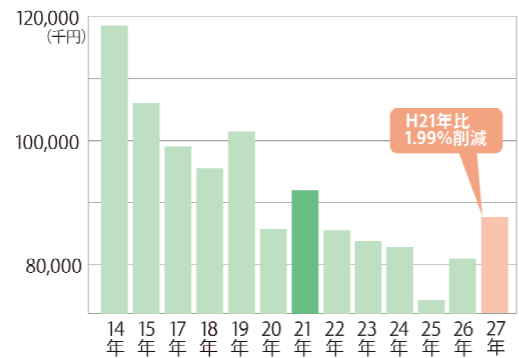
## 電力とCO2排出量の削減

平成27年度から基準年度を「平成21年度」とし、より厳しい目標に向かっていきます。電力使用量は42万1806kWhで、前年と比較して5.65%削減しました。基準年度比では削減率△34.71%となり、目標を達成しました。



## 紙の使用

平成27年度から基準年度を「平成21年度」とし、廃棄物全体のうち「紙の使用量」と「排出量」に注目しました。基準年度比で180万1000円を削減。1.99%の削減率を達成し、目標(△1.07%)を大きく上回りました。



## エネルギー削減の取り組み

上尾支店は太陽光発電システムを設置して、ロビーの照明や空調に利用しています。発電量は季節や天候に左右されますが、同支店の月間電力使用量の30~40%を賄うことができます。

また、本店や他の支店では消費電力が少なく、長寿命のLED照明や省エネタイプの蛍光灯、高効率反射板「レフボ」を採用するなど省エネに努めています。

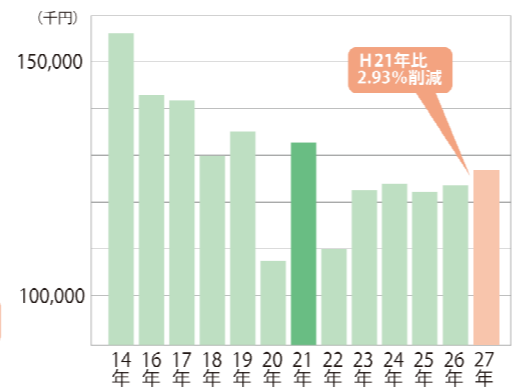
集中式エアコンを順次廃止し、分散型エアコンに切り替えているほか、クールビズとウォームビズの実施、OA機器の効率的な活用や営業室内の不要な照明の消灯などに取り組んでいます。

■上尾支店の電気量の推移(単位: kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
太陽光発電分	1,520	1,638	2,227	1,967	2,809	2,102	2,174	1,803	1,504	1,764	1,048	1,274
通常分	2,799	3,240	2,728	2,065	1,711	1,918	2,313	2,751	3,020	2,172	2,514	3,261
計	4,319	4,878	4,955	4,032	4,520	4,020	4,487	4,554	4,524	3,936	3,562	4,535

## 廃棄物の削減

平成27年度から基準年度を「平成21年度」としました。事業活動に投入した全ての資源は消費され、廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全体量を把握しています。基準年度費△1.07%の目標に対して△2.93%を達成。390万1000円削減しました。



## 保管文書の廃棄

保管期限を過ぎた大量の文書は、セキュリティを十分に確保した上で溶解処理しています。この処理方法は、紙を断裁せず繊維がそのまま残るためリサイクルしやすいのが利点で、トイレトーパーに再生しています。平成27年度は52万ロールを再生しました。

実施年度	廃棄文書重量 (トン)	再生トイレトーパー 個数
H17年	103	103万個
H18年	36	36万個
H19年	45	45万個
H20年	40	40万個
H21年	52	52万個
H22年	40	40万個
H23年	39	39万個
H24年	60	60万個
H25年	70	70万個
H26年	43	43万個
H27年	52	52万個



本店や全支店の照明に高効率反射板「レフボ」を設置しています(鳩ヶ谷支店)



上尾支店の屋上に設置された太陽光発電パネル。ロビーの照明や空調に利用しています

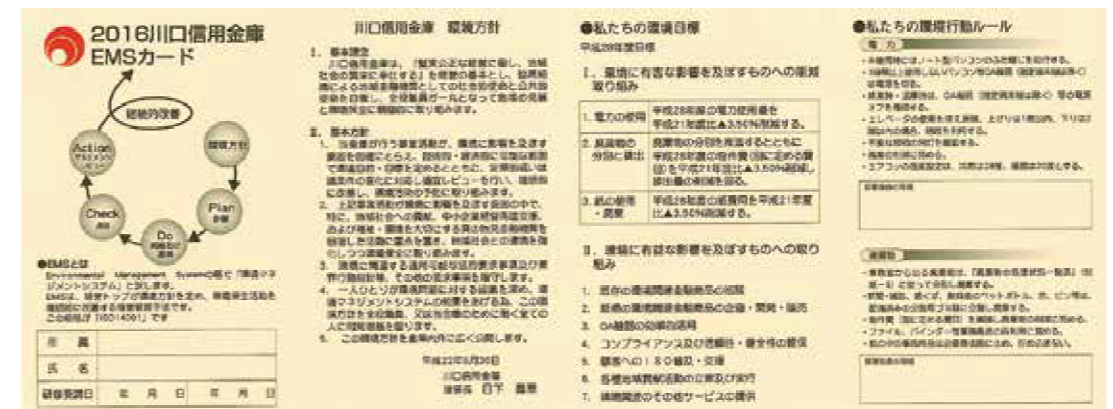
## 全役職員が一丸となって

理事長を最高責任者とする体制の中で、環境マネジメントを推進し、本部総務部に社会貢献課を設置しています。環境管理委員会には環境担当役員、本部長及び本店営業部長が参画し、社会貢献課が事務局機能を果たしています。環境管理委員会は、「環境方針」にのっとり「環境目標」を毎年決定し、本店及び支店の環境の取り組みを総合的にマネジメントしています。

また、平成16年には国際標準化機構(ISO)が定めるISO14001の認証を取得。理事長や担当役員が、その進捗状況を定期的にレビューし、PDCA(PLAN-DO-CHECK-ACT)のサイクルで、全体的な環境マネジメントを推進しています。

## 環境意識の啓発と高揚

全職員は環境マネジメントシステム(EMS)カードを携帯しています。そこには、かわしんが掲げる「環境方針」「私たちの環境目標」「私たちの環境行動ルール」が記載されています。



職員一人一人が「環境方針」や「環境目標」を自覚し、日頃から意識向上に努めています

## 職員へ向けた環境教育の実施

本部、本店営業部への異動者、および新入職員とパート職員を対象にした環境教育を実施しています。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に展開することで、職員が環境についての知識を学び、環境意識を向上させます。



ISO14001の研修会。環境管理システムへの理解を深めます

## 「Fun to Share」に参加しています

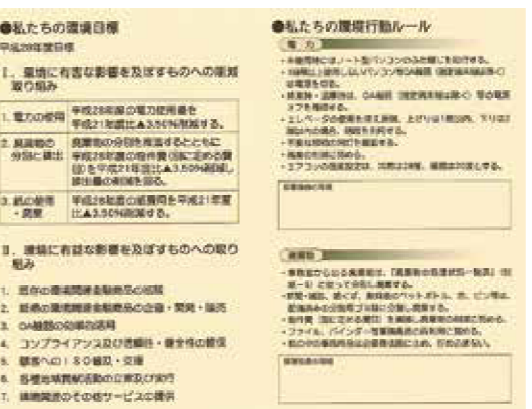
政府がこれまで進めてきた地球温暖化防止国民運動「チャレンジ25キャンペーン」が、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に生まれ変わりました。かわしんはこの運動に当初から参加しており、引き続き参画して低炭素社会の実現を目指します。



技術や取り組みなどの最新の知恵を楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくらうという合言葉。シェアした知恵を活用して、低炭素アクションを実践します。

## 販促品でも環境意識の啓発

セールスプロモーションにも環境の視点を採り入れ、消費者の目線からも環境意識の啓発に努めています。さとうきびを原料にしたポケットティッシュやキッチンペーパー、焼却してもダイオキシンを排出しない素材を使った生ごみ処理袋などを採用しました。



環境に配慮した製品を採用して、環境意識の啓発に努めています



お客さまから満足、安心、信頼を得られる金融商品やサービスを提供することが、かわしんの基本です。全職員がお客さまの声に耳を傾け、お客さまと共に環境負荷低減に向かうことを心がけています。

### 環境クリーン定期預金

環境クリーン定期預金は、販売額の一定割合に相当する額をかわしんが負担し、森林の保全整備や身近なみどりの保全・創出など環境保護のために寄付するものです。平成27年は第19次の募集販売を6月に行いました。これまでの販売累計は1650億円で、寄付総額は4050万円となりました。

環境関連商品によって環境保護活動を経済的に支援するだけでなく、募集パンフレットに「さいたま緑のトラスト写真コンクール」の入賞作品を採用するなど、商品の企画開発を通じて環境保護団体との連携も深めています。



第19回の募集は終了しています

### エコライフを支援するリフォーム・住宅のローン

自然エネルギー利用や省エネルギー対策など、太陽光発電設備設置、もしくはエコ仕様設備設置、耐震工事などリフォーム(増改築・修繕)資金、バリアフリーリフォーム資金の取扱いをしております。



### 環境関連の融資やローン

ISO9001やISO14001の認証取得を支援する特別融資を企画・開発しました。取得に係わる運転資金や設備資金などにご利用いただけます。また、エコカー購入などに利用できる変動金利型のカーライフプラン・エコカー資金も好評です。



県庁を訪れ、知事から感謝状をいただきました



感謝状を手に知事と記念撮影。左から山口泰男会長、知事、藤井茂専務理事

### 埼玉県の「みどりと川の再生」を応援

環境クリーン定期預金を通じて、彩の国みどりの基金へ毎年寄付を行い、埼玉県が推進する「みどりと川の再生」事業などを積極的に応援しています。

今年は7月20日に、彩の国みどりの基金へ300万円を、埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金(シラコバト基金)へ50万円を寄付しました。これは、平成27年6月に募集販売した第19回環境クリーン定期預金によるものです。

シラコバト基金は誰もが安心して暮らせる地域づくり、豊かで活力にあふれた長寿社会福祉づくりを進めるため、昭和52年に創設されました。

環境クリーン定期預金のスタートは平成19年7月。これまでに総額4050万円を寄付しました。



### トピックス 2016

#### 新本店は災害時、帰宅困難者200人を収容 電源の確保、水・食料などを備蓄します

今年9月、かわしんは県内に本店を置く6金融機関と共同して、大規模災害に備えた危機対応の模擬訓練を行いました。金融機能の維持や早期復旧に向けたもので、災害時にもお客さまの生活や経済活動を支え続ける環境を整えるのが目的です。

東日本大震災や熊本地震の経験から、防災では企業同士や地域社会の「共助」の重要性がますます高まっています。こうしたことから、新本店は高い防災機能を備えています。



屋上に設置された自家発電装置。非常用電源として活用します

国が定める「レベル2」の地震動にも耐える免震機能を導入したほか、屋上には太陽光発電システム、自家発電設備を備えて非常時の電源として活用します。駅前などの帰宅困難者支援では、最上階にあるホールに200人を収容し、必要な毛布や敷きマット、食料や飲料水、簡易トイレなどを備蓄します。飲料水は約千人が4日間過ごすのに必要な量を確保しています。



9月に実施した危機対応模擬訓練。県内で初めての取り組みでした

### ECO EYES

#### エコライフDAYをご存知ですか 川口市から全国へ広がっています

今でこそ全国で取り組まれている「エコライフDAY」。実は2000年に川口市から始まりました。「年に1日、みんなで地球温暖化防止にチャレンジしましょう」という運動で、簡単なチェックシート(1日版環境家計簿)に従って、生活の中でできる環境への配慮を点検・実践し、その成果を二酸化炭素(CO2)の削減量としてまとめます。

かわしんは2010年からエコライフDAYに参加してい

ます。平成28年6月に行われた取り組みには職員455人が参加。CO2削減量は49万126グラムにもなりました。川口市全体の参加者数は10万人を超え、この日1日で削減したCO2量は、なんと1億865万6232グラムです。

エコライフDAYはその成果を発表することで、多くの人に温暖化防止へ向けて行動してもらうきっかけが目的です。みなさんもぜひ参加してください。



川口市で始まった取り組みに、かわしんは2010年から毎年参加しています